第 26 週 罪を覆う蓋 — なだめの場所

鳥瞰	罪を覆う蓋はキリストが神の義なる律法の蓋であり、ローマ第 3 章 25 節のなだめの場所であり、神と人の間の問題をなだめ、それは契約の箱の上にある罪を覆う蓋であり、神が恵みの中で彼の贖われた民に語りかける場所でもあるということです。このゆえに、なだめの場所はヘブル第 4 章 16 節の恵みの御座です。罪を覆う蓋の上に金の打ち物作りで二つのケルビムを作り、その翼は罪を覆う蓋を覆い、その顔を互いに向かい合わせて、ケルビムの顔が罪を覆う蓋に向かうようにしなければならない、これは神の栄光の要求です。 契約の箱の中には十戒の律法が入っており、その聖と義の要求によって、神に接触しに来た民の罪を暴露し、罪定めしました。しかしながら、罪を覆う日に、罪を覆う血が振りかけられた箱の蓋によって、罪人の側のすべての状況は、完全に覆われました。そして神は人に恵みを与えることができます。	
	真理要点	経験適用
1日	1．罪を覆う蓋の血は、どのように人と神の関係を和らげるなだめとなりますか？ 2．ローマ第 3 章 25 節でパウロが言うキリストがわたしたちのなだめの場所について説明してください。	1．罪を覆う日に、罪を覆う血が振りかけられた箱の蓋によって、罪人の側のすべての状況は、完全に覆われました。ですから、罪を覆うこの蓋の上で、神は、彼の義の律法を破った民と会うことができました。神はこれを、神の栄光を担い、箱の蓋を覆っていたケルビムが見つめている下でさえ、行政上、彼の義に何の矛盾もなしに、行なうことができました。 2．ローマ人への手紙第 3 章 25 節でパウロは、キリストはわたしたちのなだめの場所であると言います。神はキリストがわたしたちのなだめの場所であることを表明されました。また神がわたしたち、彼の贖われた民と会い、わたしたちに話すことが出来る場所でもあります。ですから、キリストはなだめる方であり、なだめの犠牲であり、なだめの場所、神と彼の贖われた民が共に会う場所です。
2日	1．新約聖書で「ヒラステリオン」から派生した二つの人と神との関係を示す言葉は何ですか？ 2．第一ヨハネ第 2 章 2 節と第 4 章 10 節を用いて、主がわたしたちの罪のなだめの犠牲であることを説明してください。	1．一つは「ヒラスコマイ（hilaskomai）」であり、その意味は、「なだめること」、すなわち、「和らげること」、一方の要求を満たすことによって互いを和解させることです。もう一つは「ヒラスモス（hilasmos）」であり、その意味は、「なだめるもの」、すなわち、なだめの犠牲です。キリストは、わたしたちの罪のためになだめを成就しました。このゆえに、彼は、わたしたちと神との間のなだめるもの、すなわち、なだめの犠牲となりました。 2．犠牲は外庭の祭壇でほふられましたが、血は至聖所へともたらされ、箱の上に振りかけられました。これは、犠牲の血の効果がおもに外庭の祭壇にではなく、至聖所の中の箱にあることを示します。このようにして神は人と合い、また二つのケルビムの間で人と話すことが出来るのです。
3日	1．ヘブル 4:16 でパウロはなだめの場所が恵みの御座であると言っていますが、どのように解釈しますか？ 2. ケルビムは打ち物づくりで作られ、両端にあるケルビムは罪を覆う蓋と連なっていることは何を表徴しますか？	1. 恵みの御座は至聖所の中にあります。なぜならそれは、至聖所の中にある箱の蓋であるからです。ですから、箱の蓋は、神がわたしたちに恵みを与えられる場所です。こういうわけで、神が恵みをわたしたちに与えられる場所、恵みの御座は、神がわたしたちに恵みを与えられる場所であり、それは実はキリストご自身です。 2 ケルビムが打ち物作りであったことが表徴するのは、キリストが 神聖な栄光を表現することが苦難を通してであったということで す。出エジプト第 25 章 19 節は言います、罪を覆う蓋の両端の上にあるケルビムは罪を覆う蓋の一部として作らなければならないと言います。この罪を覆う蓋の両端の上にあるケルビムは、証しを表徴します。ケルビムが罪を覆う蓋と一つであったという事実が示しているのは、神の栄光が、罪を覆う蓋であるキリストから出て来て、証しとなるということです。
4日	1. その重要な表徴と契約の箱の蓋との関係は何ですか？ 2. わたしたちクリスチャンの日常生活の歩みは何の制御を受けるべきですか？	1. 重要な表徴は血とケルビムです。血は人性におけるキリストによって完成された贖いを表徴し、ケルビムはキリストの神性の栄光を表徴します。この蓋、すなわち栄光のケルビムを伴い、贖う血が振りかけられた罪を覆う蓋の上で、神とわたしたちは共に会うことができます。この、おおいの上で、わたしたちと神は交わりを持ちます。神から言葉を聞きます。 2. クリスチャンとしてのわたしたちの日常の歩みは、倫理、道徳、 敬 虔 、信心深さ、宗教によって制御されるべきではありません。さらには、わたしたちの日常生活は聖書だけで制御されるべきでもありません。わたしたちが箱の蓋の上でキリスト と会うときに見るビジョンによって制御されるべきです。
5日	1. 出 25 章はケルビムの形状大きさ、重さについて何にも告げていませんが、その意義は何でしょうか？ 2. 二つの栄光のケルビムの顔が罪を覆う蓋を向いているのと、血が罪を覆う蓋に振りかけられた意義とは何ですか。	1 . これは、キリストの輝きの栄光が計り知れないことを示します。それはまた、キリストの栄光が説明することのできないことを示します。わたしたちはケルビムを記述することができないように、キリストの輝きの栄光を説明することはできません。しかしながら、ケルビムに顔と翼があったという事実から、この栄光は命のないものではなく、生きているものであること を知ります。 2. 罪を覆う蓋に顔を向けた二つの栄光のケルビムは、キリストが行なったことに神の栄光が満足したことを表徴します。罪を覆う蓋の上に振りかけられたなだめの血は、蓋の下にある 神の義なる律法の要求を満たし、また蓋の上にある神の聖なる性質と輝く栄光との要求を満たし、このゆえに人の良心に平安を与えます。わたしたちは、キリストがわたしたちのために死なれたこと、彼の死のしるしである血がわたしたちのためになだめの場所の上に振りかけられて、神の義の要求を満たしたことを知っています。
6日	1. 血を振りかけられた罪を覆う蓋には何の効力がありますか？ 2. わたしたちは、どのように罪を覆う蓋を経験しますか？	1. 蓋とその上に振りかけられた血がないなら、神は十戒を見ようとされます。わたした ちは、みな神の律法を破り罪に定められました。神にはわたしたちと会い、わ たしたちと語る道がなく、それどころか、神は彼の義にし たがって、わたしたちを死に至るまで罪定めしなければならないでしょう。しかし神はキリストの栄光の中でわたしたちに来るとき、 彼の義の律法の要求を見ず、わたしたちの罪を見ません。そうではなく、彼は罪を覆う蓋の上の贖う血を見られます。 2. わたしたちが悔い改めたとき、神はわたしたちに会い、わたしたちに語られました。その時わ たしたちは、イエス・キリストの血によって洗われたという深い感 覚を持ちました。今やわたしたちは栄光の中で神と会うときはいつ も、血によって洗われているという感覚を内側深くに持ちます。こ れは、わたしたちの経験において罪を覆う蓋です。
まとめ	箱の蓋は罪を覆う蓋、なだめの場所、あわれみの座、恵みの御座と呼ばれます。ギリシャ語は「ヒラステリオン」です。それはなだめの場所を指していて、キリストは、神のわたしたちに対する要求を満たし、人と神を和解させます。「ヒラスモス」はキリストがわたしたちのささげ物であることを示します。その時わたしたちは、イエス・キリストの血によって洗われたという深い感 覚を持ちました。今やわたしたちは栄光の中で神と会うときはいつも、血によって洗われているという感覚を内側深くに持ちます。これはわたしたちの経験において罪を覆う蓋です。	